

## 第 60 回日本神経学会学術大会のお知らせ

第60回日本神経学会学術大会  
大会長 楠 進

## 開 催 概 要

1. 学術大会会期：2019年5月22日（水）～25日（土）  
「水の都から臨床神経学の大海原を目指して」をテーマとして、上の日程で開催致します。
2. 学術大会会場：大阪国際会議場  
〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島5丁目3-51  
TEL: 06-4803-5555  
リーガロイヤルホテル大阪  
〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68  
TEL: 06-6448-1121 FAX: 06-6448-4414
3. 演題募集期間：2018年10月1日（月）正午～11月25日（日）17:00  
※学会事務局の問い合わせ対応時間は、平日10:00～17:00です。  
※募集期間の延長はありませんのでご注意ください。  
※医学生・初期研修医演題およびメディカルスタッフ演題も同時募集いたします。  
※演題登録に関する詳細は、追って大会ウェブサイト「演題募集」に掲載いたします。  
(<https://www.neurology-jp.org/neuro2019/>)
4. 事前参加登録：2018年10月1日（月）正午～2019年4月12日（金）17:00  
※事前参加登録はすべてオンラインにより登録を行います。  
※日本神経学会第13回専門医育成教育セミナー<sup>1)</sup>、第16回生涯教育セミナー「レクチャー」「Hands-on」<sup>2)</sup>、第6回メディカルスタッフ教育セミナー<sup>3)</sup>、教育コース<sup>4)</sup>もオンラインによる事前登録制です。  
1)～3)は12月中旬、4)は4月1日（月）登録開始予定です。  
※詳細はホームページをご確認ください。( <https://www.neurology-jp.org/neuro2019/> )
5. 会員の参加費（非会員につきましては、ウェブサイトをご確認ください。）

		事前	当日
会 員	正会員	15,000円	18,000円
	研修医会員	3,000円	3,000円
	学生会員（大学院生）*1	—	3,000円
	学生会員（学部学生）*2	—	無料
	メディカルスタッフ会員	3,000円	3,000円
そ の 他	全員懇親会（5月22日（水））	3,000円	3,000円
	プログラム・抄録集 *3	4,000円	4,000円
	ポケットプログラム（日本語版）	—	1,000円

- \*1 大学院生で正会員になられている方は、必ず「正会員」の料金で事前参加登録をお願いいたします。学生会員枠には当てはまりませんのでご注意ください。
- \*2 学部学生・日本滞在中の外国人留学生は事前に登録する必要はございません。学部学生・日本滞在中の外国人留学生の方は、会員、非会員にかかわらず、学会当日、受付窓口にて「ID」をご提示ください。
- \*3 学術大会参加費に含まれておりませんので、ご希望の方はお申し込みください。事前送付いたします。事前参加登録の有無にかかわらず、会員には「ポケットプログラム（日本語版のみ）」を事前送付いたします。

6. 宿泊予約  
参加者向けの宿泊予約申し込みは、2018年10月9日（火）午前10時より開始します（締切り：2019年4月19日（金））。第60回学術大会ウェブサイト（<https://www.neurology-jp.org/neuro2019/>）の宿泊案内ページ（2018年10月9日（火）開設）よりアクセスしていただき、お問い合わせ・お申し込みくださいますようお願いいたします。
7. お問い合わせ  
【大会長校事務局】  
近畿大学医学部神経内科学教室  
〒589-8511 大阪府大阪狭山市大野東377-2  
【日本神経学会事務局】  
〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-21 一丸ビル2階  
TEL：03-3815-1080 FAX：03-3815-1931  
【第60回学術大会運営事務局】  
第60回日本神経学会学術大会運営事務局  
〒102-0075 東京都千代田区三番町2 株式会社コンベンションリンクージ内  
TEL: 03-3263-8688 FAX: 03-3263-8693  
E-mail：neuro2019@c-linkage.co.jp

### 一般演題について

口演発表とポスター発表を予定しております。

1. 申し込み：申し込みはすべてオンラインにて受け付けます。
2. 演題募集期間：2018年10月1日（月）正午～11月25日（日）17:00  
※募集期間の延長はありませんので、ご注意ください。
3. 演題要旨作成時の注意
  - (1) 演題の制限：1演者につき1題とします。但し、共同演者になることは差し支えありません。一施設から多数の申し込みも歓迎いたします。
  - (2) ご登録いただく項目
    - ◎登録・発表演語：日本語もしくは英語（応募カテゴリーによる言語指定あり）  
※基本は、抄録の登録言語が発表演語となるようにセッションを組む予定です。
    - ◎発表形式区分：口演もしくはポスターより選択
    - ◎筆頭演者と共同演者の氏名（日英）：演者数は20名以内
    - ◎筆頭演者と共同演者の所属機関（日英）：所属機関数は10機関以内
    - ◎演題名（日英）：日本語は全角40文字以内、英語は半角100文字以内
    - ◎演題抄録：
      - ・抄録は、日本語または英語でご登録ください。（応募カテゴリーによる言語指定あり）
      - ・日本語は全角800文字以内、英語は半角1,600文字以内とします。
      - ・【目的】【方法】【結果】【結論】に分けて簡潔に記入してください。その都度改行をしないでください。改行を行っても、抄録印刷の際に反映されません。
      - ・抄録内容が不完全な場合（誤字、脱字、具体的な数値の不足、【目的】【方法】【結果】【結論】に項目立てされていないなど）、不採用になりますので抄録作成の際に細心の注意を払ってご投稿ください。
  - (3) 筆頭演者は本学会の正会員である必要があり、登録時に会員番号およびパスワードを入力していただきます。未入会者は、必ず日本神経学会HP「入会に際して」をご確認の上、「入会までの手順」に従って、演題登録締切の1週間前までに、入会手続き（入会申込書の送付、年会費の支払い）を

お済ませください。演題登録締切の1週間前(2018年11月18日(日))までにご入会手続きが完了していない場合は、ご登録いただいた演題を不採択とさせていただきますので、ご了承ください。

**日本神経学会事務局**

〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-21 一丸ビル2階

TEL: 03-3815-1080 FAX: 03-3815-1931

(受付時間: 平日 10:00 ~ 17:00)

- (4) 応募演題の研究の内容により、厚生労働省等による倫理指針(臨床研究、ヒトゲノム・遺伝子解析研究、疫学研究、ヒト幹細胞を用いる臨床研究など)及び所属施設が定めた倫理規定(動物実験等を含む)を遵守すると共に、あらかじめ所属施設等において倫理審査委員会等による審査・承認を得ていることが必要です。詳細は学会ウェブサイトにある「日本神経学会学術大会時の演題の倫理面について」([https://www.neurology-jp.org/gaiyo/pdf/endai\\_rinri.pdf](https://www.neurology-jp.org/gaiyo/pdf/endai_rinri.pdf))をご覧ください。承認の得られていない研究についての演題は、応募することができません。
- (5) 応募演題は、演題を登録した時点において、未発表のものに限ります。他学会で既に発表済みの演題でも、論文発表されていなければ応募可能です。(同一抄録は不可)
- (6) 演題の査読を行いますので、抄録本文の中で筆頭演者の所属機関が明らかになるような記述や、筆頭演者や共著者が明らかになるような記述(謝辞を含む)は避けてください。
- (7) 薬品名を記載する場合は、必ず一般名を記載してください。
- (8) 症例数や実験に用いた動物の数などは、演題登録時点で実際に行った数値を記載してください。
- (9) 一例報告については原則認めません。但し、症候学的、学術的な面などから深く検討されているのであれば、審議の上、採択することがあります。
- (10) 患者の個人情報に抵触する可能性のある内容は、患者あるいはその代理人からインフォームド・コンセントを得た上で、個人が特定できないよう十分留意して発表してください。入院年月日や年齢など、個人が特定される恐れのある情報を含む発表は禁止します。
- (11) 演題登録締切り後、査読委員が査読を行い、採否を決定します。応募演題の内容によっては、採択されない場合もありますが、ご了承ください。
- (12) 第60回日本神経学会学術大会最優秀演題賞を設けますので、応募希望の方は抄録登録時にご申請ください。応募資格は、登録時、学部卒業後15年未満とします。尚、最優秀演題賞への応募演題に関しては、英語での登録を推奨します。
- (13) 演題登録締め切り後の登録内容の修正は一切承りませんので、注意深く抄録をご準備ください。抄録が採択された場合、事務局からの修正依頼もございません。また、学術大会終了後の修正も承りませんのでご了承ください。プログラム・抄録集の“抄録集”部分が「臨床神経学サプリメント号」として認定されております。掲載ページには「臨床神経学59巻サプリメント号S-〇〇」という頁数が付与されます。  
尚、「臨床神経学」の投稿規程に基づき、掲載論文の複写、および転載等の二次的使用に関する許可の権限は日本神経学会に所属いたします。またこれによる使用料は日本神経学会に帰属するものとします。

#### 4. 利益相反の開示について

産学連携による臨床研究の適正な推進を図り、科学性・倫理性を担保に遂行された臨床研究成果の発表における中立性と透明性を確保するため、すべての発表者に「利益相反 (Conflict of Interest, COI と略す)」の開示を求めることになっております。

演題登録画面の「利益相反の有無」の入力欄にて「ある」「ない」をご選択ください。「ある」の場合、演題登録後に日本神経学会ホームページの「利益相反に関する倫理綱領等」内、「別紙様式3」をダウンロードしていただき、ご記入の上、以下の学会事務局担当者までメール添付もしくは郵送にて送付してください。

COI提出締切: 2018年12月7日(金) 必着

**COI自己申告書付送先**

〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-21 一丸ビル2階

TEL: 03-3815-1080 FAX: 03-3815-1931

E-mail: jsn-abs@gol.com

尚、利益相反について、専門的な内容に関するご質問は上の学会事務局までお問合せください。

## 5. 採否通知

演題登録完了通知メールに記載されている、7ケタの登録番号をもって、2019年2月中旬頃より当サイトの採択演題一覧ページにて公開いたします。個別にメールでの発表日時等の通知はいたしませんので、必ず当サイトをご確認ください。発表形式も同時に掲載いたします。発表日の希望ならびに、決定後の発表日時変更は承りません。筆頭演者ご自身が日程調整の上、ご発表いただきますようお願いいたします。

## 6. 口演による発表方法

- (1) PC プロジェクターが使用可能です。
- (2) ビデオプロジェクターの使用はできませんが、PCからの動画投影は可能です。
- (3) 発表データはメディア（USBメモリーまたはCD-R）での持ち込みです。但し動画がある場合にはご自身のPCをご持参ください。
- (4) 研究倫理諸規定および個人情報保護の諸規定に遵守してご発表ください。
- (5) 利益相反の有無に関わらず、ご発表時に利益相反開示についてのスライドをご提示いただきます。詳しくは日本神経学会ホームページの「学会概要」内、「定款・規則」をご参照ください。
- (6) 学術大会国際化のため、口演スライドはできるだけ英語で作成するようお願いいたします。但し、英語セッションにおいての口演スライドは必ず英語で作成してください。
- (7) 一般演題の口演発表時間は、一人当たり発表10分+質疑応答5分を予定しています。（プログラムの都合により若干変更する場合もございますのでご了承ください）

## 7. ポスター形式による発表方法

- (1) ポスターパネルは縦210cm×横90cmの予定です。パネル上部の演題番号のみ、学術大会運営事務局で用意いたします。演題名・氏名・所属は各自で20cm×70cm枠に横書きしてください。
- (2) ポスターは、要旨・目的・方法・結果・考察の順に大きくわかりやすく書いてください。文章は2～3m離れたところからでも見えるような大きなポイント文字を使い、図式は一辺が20cm以上の大きさでタイトル・簡単な説明をつけてください。
- (3) 動画URLのQRコードを提示したい場合は、ご自身でQRコードをご作成の上、ポスター内に印刷、または貼付してください。  
※57, 59回大会時のように、演題登録時に申請、事務局にてQRコードの作成、貼付するサービスは、本大会では行いませんので、ご了承ください。
- (4) パネル自体に直接文字や図表を書いたり、パネルに糊づけしたりはできません。
- (5) ポスターをパネルに貼りつけるための画鋏は、会場に用意いたします。
- (6) ポスター発表のスケジュール等は、演題採用通知発表後にご案内させていただきます。
- (7) 研究倫理諸規定および個人情報保護の諸規定に遵守してご発表ください。
- (8) 利益相反の有無に関わらず、ご発表時には利益相反開示についての内容を記載してください。詳しくは日本神経学会のホームページ「学会概要」内、「定款・規則」をご参照ください。
- (9) 学術大会国際化のため、できるだけ英語で作成するようお願いいたします。但し、英語セッションにおいてのポスターは必ず英語で作成してください。
- (10) 一般演題のポスター発表時間は、一人当たり発表5分+質疑応答1分、総合討論30分を予定しています。（プログラムの都合により若干変更する場合もございますのでご了承ください）

## 8. 日本神経学会 学術大会運営委員（50音順・敬称略）

阿部 康二 宇川 義一 梶 龍兒 加世田ゆみ子 楠 進 佐々木秀直  
下濱 俊 高橋 良輔 戸田 達史 服部 信孝

## 9. 第60回日本神経学会学術大会 年次学術大会学術委員（50音順・敬称略）

飯嶋 睦 池内 健 池田 昭夫 池田 佳生 石川 欽也 伊東 秀文  
井上 治久 今井 富裕 岩坪 威 漆谷 真 大槻 美佳 岡澤 均  
荻野美恵子 小野寺 理 海田 賢一 勝野 雅央 河内 泉 菊地 誠志  
木下 彩栄 木村 和美 小池 春樹 小森 哲夫 古和 久朋 佐光 亘

清水 潤	清水 利彦	東海林幹夫	関島 良樹	園生 雅弘	高嶋 博
高橋 一司	高橋 正紀	竹島多賀夫	武田 篤	立花 直子	田中 章景
寺尾 安生	寺田 清人	徳田 隆彦	戸田 達史	豊田 一則	中島 一郎
中島 孝	長峯 隆	西岡 健弥	長谷川隆文	花川 隆	花嶋 律子
等 誠司	深浦 彦彰	三澤 園子	水野 敏樹	三原 雅史	宮嶋 裕明
宮本 雅之	村井 弘之	村山 繁雄	目崎 高広	森田 昭彦	山崎 亮
山下 徹	雪竹 基弘	横田 隆徳	横山 和正	米田 誠	若林 孝一
三井 良之 (事務局)					

10. 学術大会教育プログラムワーキンググループ (50音順・敬称略)

青木 正志	阿部 康二	宇川 義一	北川 一夫	吉良 潤一	楠 進
古和 久典	佐々木秀直	砂田 芳秀	園生 雅弘	富本 秀和	服部 信孝
三井 良之	矢部 一郎	山下 徹			

### 各種企画のお知らせ

☒…英語セッション

1. 大会長講演 (5月23日(木)午後 予定)  
楠 進 (近畿大学医学部神経内科教授)
2. Plenary Lecture (5月23日(木)午前 予定) ☒  
Angela Vincent (Oxford University, UK)  
「Antibody-mediated neurological diseases (tentative)」
3. Semi-Plenary Lecture (5月24日(金)午後 予定) ☒  
Brian G. Weinshenker (Department of Neurology, College of Medicine, Mayo Clinic, USA)  
「The evolution of the concept of transverse myelitis」
4. 特別講演 1, 2, 3
5. 2018年度学会賞受賞者招待講演 (5月23日(木)午後 予定)  
2018年度学会賞 (学術研究部門)  
清水 文崇 (山口大学医学部脳神経病態学講座神経内科学)  
佐竹 渉 (神戸大学大学院医学研究科神経内科 / 分子脳科学)  
2018年度学会賞 (診療部門)  
榊原 隆次 (東邦大学医療センター佐倉病院内科学講座神経内科学)
6. East Asian Neurology Forum 関連プログラム (予定) ☒
7. Neuroscience Frontier Symposium/ ホットトピックス/ ガイドラインコース/ シンポジウム等 (予定)  
5月22日(水)午前  
  - ・レジストリはいかにして神経疾患の創薬に貢献できるのか?
  - ・ $\alpha$ -シヌクレインおよびそれを超えて: パーキンソン病の神経変性の真犯人を探せ! ☒
  - ・脳卒中と常在細菌の密接な関係を探る ☒
  - ・Genetic and neuropathological approach decipher the molecular mechanisms of idiopathic central nervous system demyelinating diseases ☒
  - ・神経疾患に対する非侵襲脳刺激療法の最先端
5月22日(水)午後  
  - ・すべてがわかる白質病変の画像と病理
  - ・神経免疫疾患の病態解明への多面的アプローチ
  - ・Newly Emerging Concepts on PSP and CBD ☒
  - ・レム睡眠行動異常症の二面性: パラソムニア vs シヌクレイノパチーの前駆症状 ☒
  - ・Extending the clinical spectrum of cerebral amyloid angiopathy (CAA) ☒

・ More than just taking out the garbage: Expanding landscape of autophagy and lysosome function in neurological diseases [E]

・ Update on Diagnostic Biomarkers for the early diagnosis of Alzheimer's Disease [E]

5月23日(木) 午前

- ・ ゲノム編集技術が切り拓く神経内科学
- ・ 新たな臨床スペクトラムとしての多系統蛋白質症
- ・ 脳神経内科医の燃え尽き症候群を防ぐための対策と提言
- ・ 今, リピート病が面白い リピート病の最前線 [E]
- ・ ジストニアを早く見つけて治す!
- ・ ANA-JSN ジョイントシンポジウム [E]
- ・ 水が心と体を育み, そして癒す
- ・ 難病法の5年後見直しと神経難病の総合的支援を考える

5月23日(木) 午後

- ・ 脳梗塞急性期治療 今後の新しい展開
- ・  $\alpha$ -synucleinopathy における自律神経障害と認知機能障害
- ・ Dementia and cognitive neurology: recent advances [E]
- ・ AIとデータベースによる近未来の神経画像診断 [E]
- ・ いままたMSとNMOSDの境界を考える [E]
- ・ 脊髄炎に関する最近のトピックス
- ・ 慢性免疫介在性ニューロパチー: 病態研究の最前線 [E]
- ・ てんかんと他疾患の併存と鑑別
- ・ 神経変性疾患の発症前に挑む! [E]
- ・ 循環器と筋疾患専門家とのクロストークー基礎医学からベッドサイドまで [E]

5月24日(金) 午前

- ・ Parkinson 病診療ガイドラインコース
- ・ 見逃したくない治療可能な小脳性運動失調症
- ・ 「今からでも遅くない!—3学会プレジデントが語る基礎研究の魅力」
- ・ Duropathy の臨床—その多様な病態—
- ・ GBS in Asia [E]
- ・ 片頭痛病態解明への羅針盤
- ・ 脳神経と肝臓のクロストーク
- ・ 災害のとき, あなたは神経内科医としてどうする?

5月24日(金) 午後

- ・ パーキンソン病の疾患修飾療法の可能性 [E]
- ・ 各国のMG治療の変化—新薬開発を含めて [E]
- ・ 免疫性神経疾患患者の妊娠・出産・授乳—診療の最前線
- ・ GBSの最近の知見: 病態と臨床 [E]
- ・ 脳におけるグリアの新たな考え方—神経疾患の全容解明を目指して [E]
- ・ 製薬企業連携による革新的な創薬イノベーションに向けて
- ・ てんかんにおける緊急事態 [E]
- ・ 脳可視化研究の大海原を目指して

5月25日(土) 午前

- ・ ついに到来 脳神経内科リアルワールド遺伝子治療・再生医療 [E]
- ・ ポストトランレショナルリサーチ期を迎えた運動ニューロン疾患 [E]
- ・ 遺伝性ニューロパチー診断と治療の最前線
- ・ 神経難病医療における神経内科医と患者/患者団体の連携
- ・ 神経リハビリテーションにおける神経可塑性とその誘導法
- ・ 補体からみた神経免疫疾患の病態解明と治療の最前線
- ・ Progressive multifocal leukoencephalopathy in the era of disease-modifying therapies [E]
- ・ 女性医師の働き方の多様性を考えよう!

5月25日(土)午後

- ・膜ラフトと神経疾患
- ・脳と心は利己的免疫システムに支配されるのか？

8. レクチャーマラソン
9. 教育コース(事前登録制)
10. メディカルスタッフポスターセッション(5月24日(金)・25日(土)予定)
11. 医学生・初期研修医セッション(5月25日(土)予定)
12. 各種共催セミナー
13. 神経内科ウィーク(市民公開講座)
14. 日本神経学会主催セミナー(事前登録制)
  - ・第16回生涯教育セミナー「レクチャー」(5月22日(水)午前・25日(土)午後 予定)
  - ・第16回生涯教育セミナー「Hands-on」(5月22日(水)午前・25日(土)午後 予定)
  - ・第13回専門医育成教育セミナー(5月22日(水)午前・午後 予定)
  - ・第6回メディカルスタッフ教育セミナー(5月25日(土)午後 予定)
  - ・市民講座(5月27日(日)午後 予定)

※プログラムの最新情報については、大会ウェブサイトをご確認ください。